

キャラクター名
高田 李沙

プレイヤー名

シンドローム	バロール モルフェウス		ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	コスプレイヤー
	オプション		年齢	16歳の見た目	性別	女
覚醒	生誕	衝動	嫌悪	初期侵食率	32 %	
出自	兄弟姉妹	経験	初恋	邂逅	嵯峨 童子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	1	1	0			2	行動値	6
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	8
精神	2	0	0			2	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フォールンシールド	白兵	2r+2	8	2		侵食値+1でガード値+5
フォールンシールド	白兵	2r+2	8	2		侵蝕値+1でガード値+5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ブーストアーマー		15		-2	

所持品		合計装甲:	15	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
[11] 秘密兵器/レガシー	P	N			
マッシュ・キリエライト	P 憧憬	N 食傷			
コスプレぶっ!!!	P 連帯感	N 敵愾心			
"パーガトリー"	P 懐旧	N 不快感			
先輩	P 慕情	N 疎外感			
ライダー① (モロハ)	P 好奇心	N 憐憫			
ライダー② (健一)	P 尊敬	N 隔意			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバーリング可能								
物質合成	1	5	メジャー	至近	自身	自動	100%	
効果: 二つの武器合成、1回/1シーン								
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード値+LvD								
孤独の魔眼	2	4	オート	視界	効果参照	自動	-	
効果: 範囲攻撃の対象を自分1人、Lv回/1S								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 判定自動失敗、1回/1S								
ブーストアーマー	2							
効果:								
フォールンシールド	2							
効果:								
帝王の時間	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 成長も老化も必要ない								
テクスチャーチェンジ	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: コスプレ用								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

憧れの人になるためだけに訓練施設の主席に君臨したUGNチルドレン。「複製体」の精製技術をもとに発展したクローニング技術によって量産された試験管ベイビーの一人に過ぎなかった彼女は何の信念も持たないまま、UGNに言われるがまま、使い潰されるはずだった。しかしそんな無味乾燥な彼女の一生は、画面越しに微笑む一人の少女によって一変する。なんだこのかわいらしい少女は……！美しく可愛で淑やかでひたむきで一途で。天然で胸には熱いものを秘めており苦難や葛藤を乗り越えることで成長し頼りがいのある守護者として主人公の傍らに立つ。

「わたしは、マッシュ・キリエライトになりたい」

デザイナーが瓜二つになるよう意図的に操作したかと思えない顔立ちとプロポーションのまま、成長も老化もしない肉体。実務に問題のない範囲であれば、数世紀分もの発展を遂げた加工技術を転用したカスタマイズが可能な”秘密兵器”。マッシュ・キリエライトを再現するためだけに彼女はすべての心血をささげた。そうしてコスプレイヤーは歴代でも類を見ないほど優秀な成績を取めたシールドラーとしてレコードを叩き出し、一人前のUGNチルドレンとして任務に派遣されることとなる。マッシュ・キリエライトそのものになりたい彼女は、趣味趣向行動挙動以前にその強さも完全再現するため、彼女よりも彼女らしく人類を庇護する護り手となるために成長を続けている。

「真面目でおとなしい優等生」「先輩をたてる後輩」「ちょっとだけ不思議ちゃん」といった元ネタの要素に「そんな自分を演じることにこの上ない幸福を感じ、その痺気が漏れ出している」というのが彼女の性格である……が、そこには2点ほど問題が付きまとっている。まず、彼女が生まれ育ったチルドレン訓練期間に敷かれていた情報統制は監視社会を想起させるほどに厳しいものであった。下界の情報ほとんどシャットアウトされ、任務で必要となる一般知識以外は口伝の噂話や教官の私物が程度のことしか知りえない。そんな過酷な環境下で、彼女が信仰しているマッシュ・キリエライトおよびそれに関するコンテンツの供給なんてものは夜が明けた野原の朝露程度であった。断片的な情報をもとに彼女の活躍を妄想し、シールドラーがプリントされたクリアファイルは保存用とか言ってるほど物資が豊かではなかったために擦り切れるまで使った。原作の履修よりも口調や見た目、強さを優先するのも自分の脳内のマッシュ・キリエライトとの乖離を恐れる一方で御神体の御姿だけ究極的に間違いようがないからであろう。現実世界のFate/Grand Orderに登場するマッシュ・キリエライトから幾分かズレのある虚像をトレースしているのが現状だ。